

2016 年度 J-BADO 結果

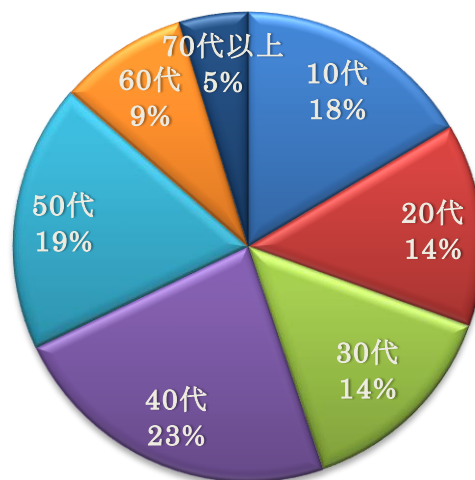
※依存症病棟、医療観察法病棟を除く全病棟の新規入院

2016 年度（2016 年 4 月～2017 年 3 月）新規入院例

	救急病棟	一般病棟	ストレスケア病棟	思春期病棟	全体
入院数	482	54	131	96	763
退院数	393	30	104	73	600

※退院数=上記期間の新規入院例のうち退院した数

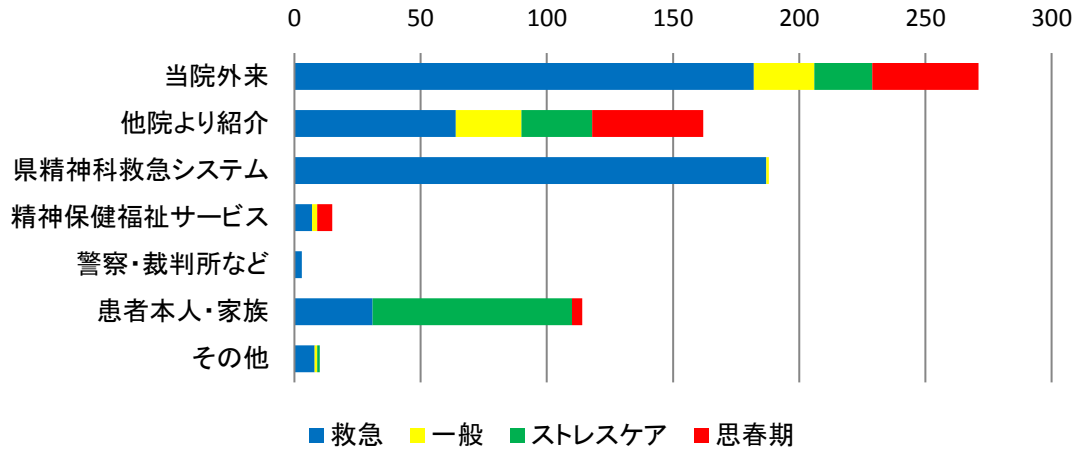
年代別入院割合



40 代の入院が最も多く、次に 50 代、10 代が続く。

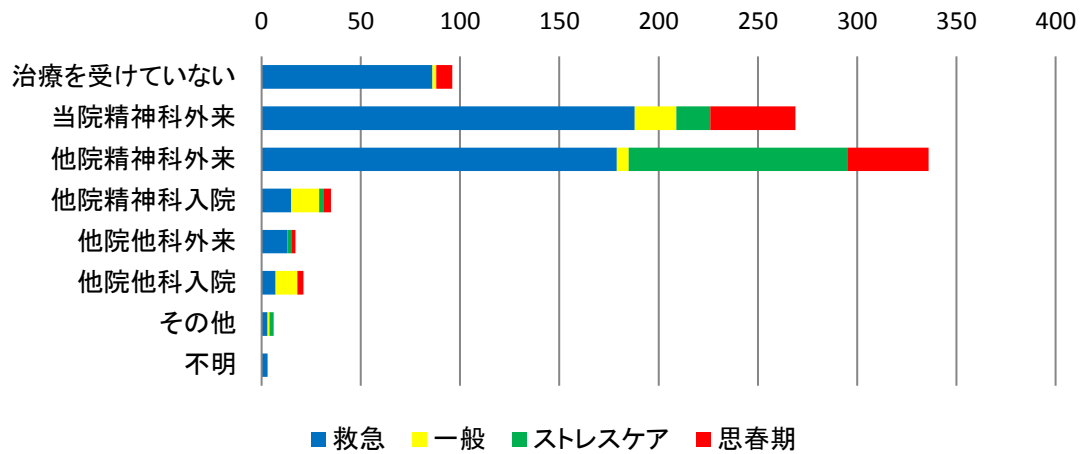
10 代の多くは、思春期病棟への入院である。

入院の経路



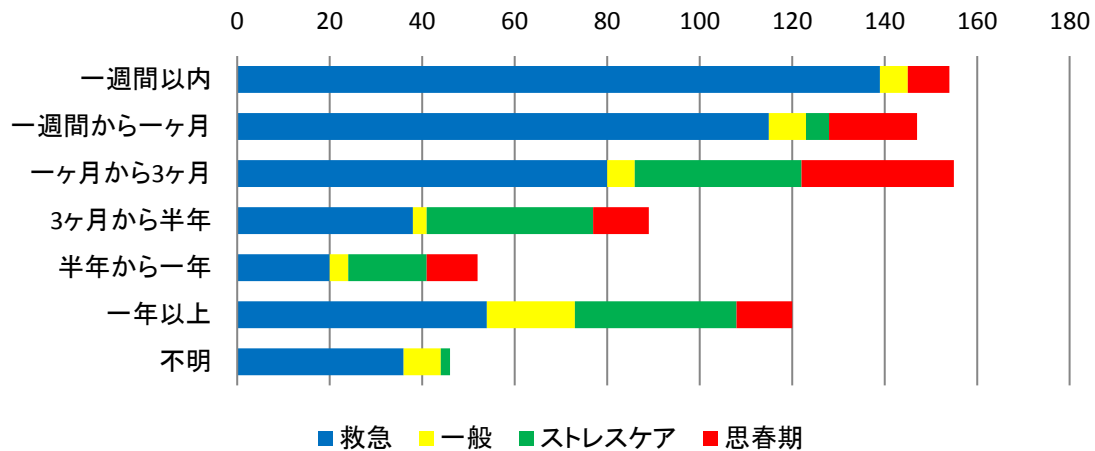
精神科救急病棟では神奈川県救急システム経由と当院外来経由がほぼ同数である。
 一般病棟、思春期病棟では、当院外来と他院からの紹介がほぼ同数である。
 ストレスケア病棟では、患者本人・家族からの依頼が最も多い。

入院前の治療状況



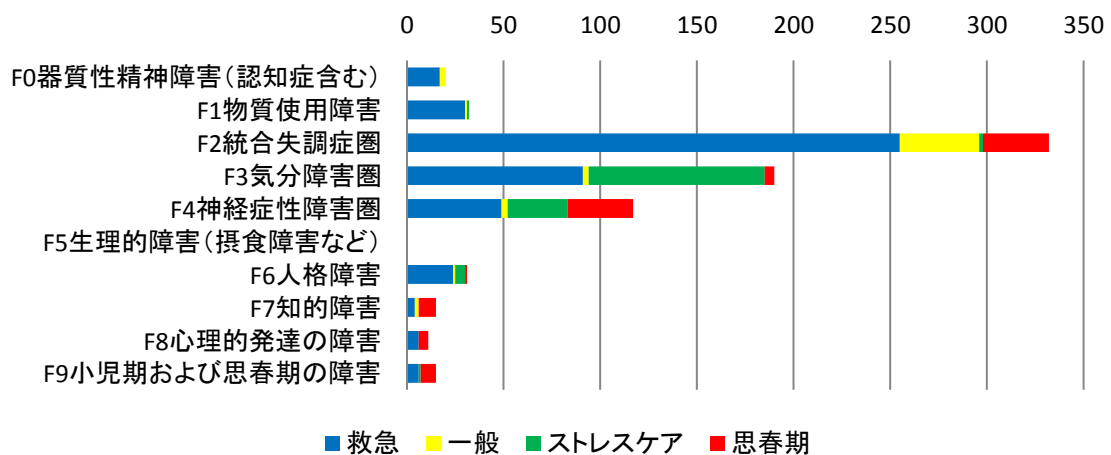
全体では、他院精神科外来が最も多い。

エピソード発生から入院までの期間



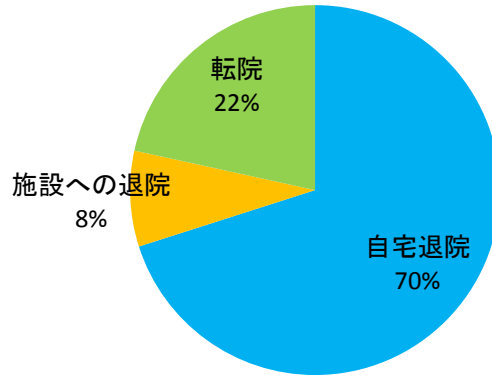
エピソード発生から入院までの期間は、発症または今回の病状悪化から、入院に至るまでの期間を指す。救急病棟では、1週間以内が最も多く、約7割が3か月以内に入院している。思春期病棟は約6割が3か月以内に入院している。一方、ストレスケア病棟は約7割が3か月以上、一般病棟では半数が1年以上経過してから入院している。

入院時診断 (ICD-10)



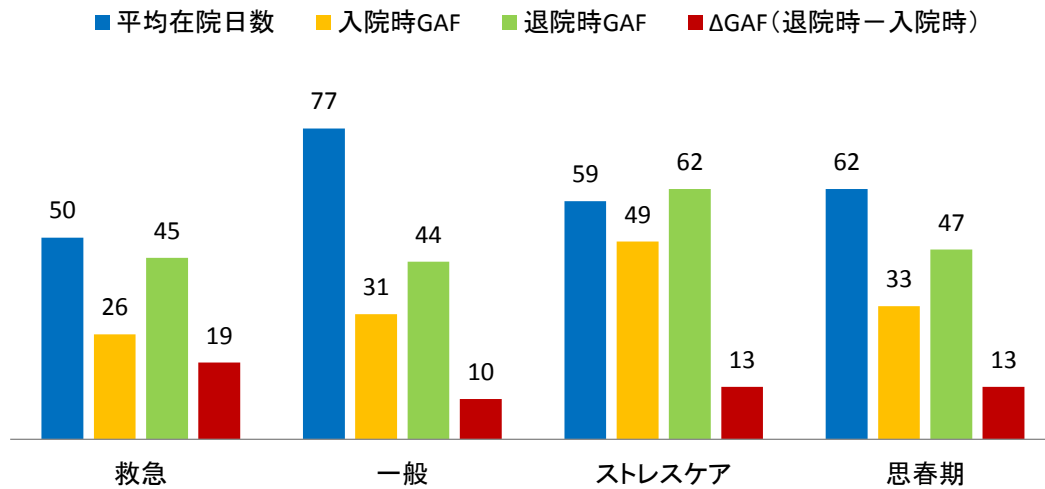
救急病棟、一般病棟、思春期病棟では統合失調症圏が最も多く、ストレスケア病棟では気分障害圏が最も多い。

退院の種類



7割が自宅退院している。転院例の多くは、神奈川県救急システムの後方移送である。

平均在院日数とGAF



退院者の平均在院日数は、全体で54日であり、各病棟ともに従来と比べ、短縮化している。GAF（機能の全体的評定）は、100点満点で、数値が高いほど、心理社会的機能が高く重症度が低いことを意味する。

グラフではすべての病棟でGAFは改善している。